

令和8年度第1回学校運営協議会 会議録

期日：令和8年5月19日（火）14:00～16:00

場所：会議室1

出席者：委員7名、学校職員6名 計13名

- 1 開会（副校長）
- 2 学校運営協議会委員委嘱
- 3 出席者自己紹介

○学校運営協議会運営規定の説明（副校長）

○会長、副会長の選出（省略）

4 校長あいさつ

- ・お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本校の教育活動に対しまして、ご理解を頂きありがとうございます。学校協議会は3年目になりました。委員をお引き受け頂いたことに心から感謝申し上げます。
- ・学校とそれぞれの地域の皆様と教育活動を進めていくという場になる。
- ・今回は生徒との座談会を企画しており、実際に学校生活を送っている生徒の生の声を聞く事ができます。その際に生徒たちに良いアドバイスをいただけたらと思います。また学校の様子がわかる貴重な機会となるものと考えます。限られた時間ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。

5 学校運営方針及び概況説明（議長：会長）

（1）令和8年度学校経営計画について（校長説明）

- ・令和7年度と大きく変わったものはない。
- ・重点目標については、昨年度の達成目標は達成できているが、達成できたからといって数値を上げることはせずに、この水準を安定的に継続していくことに重点を置きたい。
次年度以降は、必要に応じて検討していきたい。
- ・今年度新たに業務量管理・健康確保措置という項目を加えた。令和8年の2月に岩手県教職員働き方改革プランの一部が改訂され、月当たりの教員が時間外や在宅で平均25時間程度の労働時間を努力目標にしたい。
- ・今年度の本校の働き方アクションプランでは、業務の見える化と再設計を行い、業務の適正化と効率化を進めたい。

○質疑：特になし。承認

※ここでいったん中断して、生徒たち（三年次の生徒会メンバー）と二グループに分かれて交流座談会を行う。

※交流座談会終了（約50分の中断）後再開

①令和8年度教育課程（副校長）

- ・本校は総合学科で5つの系列がある。例年と大きく変わっている点はない。通例の系列別に基づいた科目の設定がなされている。5つの系列に分かれるが生徒の希望によって、人数の変動がある。ちなみに、今年の3年次は人文系列は文Ⅰ・文Ⅱに分かれ、文Ⅰは48名、文Ⅱは11名、自然系系列は理

系・看護系と分かれ理系は 44 名、看護系は 34 名、環境生活系列は 32 名、ビジネス系列は 22 名、福祉系列は 5 名になる。学年によって多少の違いがあってもだいたい同じような割合になっている。

○質疑：特になし。承認

②特色化・魅力化ビジョンについて（副校長）

- ・参考資料として提示
- ・令和 4 年度すべての県立高等学校が作成して、県 HP や学校 HP に掲載している。
- ・年度ごとに改訂して進めることになっているが、昨年度今年度は大きく変わっているところはない。

③教職員働き方改革アクションプランについて（校長）

- ・資料のとおり
- ・月の時間外在校等時間が 80 時間を超えた事はあっても年間通してではなく、ある月は超えたということ。
- ・これらは HP でもお知らせするもの。

（2）令和 8 年度年間計画について

- ・総務課、教務課、生徒指導課、進路指導課より資料の説明

6 質疑応答及び意見交換

- ・特になし。

○委員から提言（交流座談会の感想を含めて）

委員 A：生徒さんたちとの交流ですが、私の仕事柄、高校生や中学生と接する時が多いが、その中でも二高生は結構明るくて挨拶がきちんとできている。そのような普通のことがちゃんとできていると感じている。また、学校生活を見ても心に余裕があるというか、優しさがあるというか、人を思いやる気持ちがある生徒が多いように見受けられた。今日生徒たちと話をしてみて、人間性を豊かなものにするようなところも学んでいって、立派に育って欲しいと思いました。

委員 B：生徒たちの話はいつまで聞いていても飽きない。生徒たちが素直にすくすくと本当に育っていて微笑ましく思った。校則などの話の中で感じたことは、生徒たちは今の現状を疑うということあまりしない。世の中には大人の思惑とか流れとか政治とかが絡んでいて、皆さんが当たり前でこうだという環境に疑いも疑問ももたない、もてないまま大人になったときに非常に危うい社会になっているような気がする。私は探究活動に共に携われるので、生徒たちが素朴なことに疑問を持てるように一緒に考えていきたいと思う。

委員 C：座談会では生徒会の生徒ということで、志が高い印象を受けたし、生徒会としての自覚をもって学校生活を送っていることが分かった。教務課の話であった長期欠席者の対応について、学校に行きづらい理由、最近ではヤングケアラーという問題も出てきている。あまり表面には出てこない問題もあるかと思いますが、そのようなところも何か手当てをしながら、卒業まで何とかご指導いただければいいのかなと感じた。一般的な高校生活を送れていないと思う生徒も少なからずいらっしゃると思いますので、そのような生徒へのフォローもお願いしたい。

委員 D：生徒さんとの交流の時間で、生徒の二高への帰属意識が非常に高いと感じた。はっきりとした進学意識をもってこの学校に来ているということにも驚きを感じた。将来を考えてそれぞれのコースの魅力、内容を抑えた上で、入学している生徒なのかなと分かった。かなり、自分の自己キャリアの

キャリア形成意識の高い生徒が多いのかなと思った。一方で、非常に素晴らしい子たちなので、社会に出て現実と向き合った時に、ちょっと心配かなという部分も感じた。分掌について従来の総務や進路、教務等々で特に対応できないので、ある意味でキャリアガイダンス部のような部署を設けて、組織面から改変して対応するのも必要なのかなと個人的には思いました。

委員E：座談会を通して素晴らしい生徒さんたちだと感じた。その中で生徒たちが自ら主体的に関わっているという意識をもっていることにびっくりした。誰かにやらされているのではなく、自らやりたいことをやっているという認識・意識がありましたので凄いなと思った。また、具体的な目標がなくても、総合学科ということで、ラベルということを知って入学している生徒もいると知ることができた。校則についての話では違和感を覚えてもその先に進んでいないようなので、進んで変えるようなチャレンジができるようになれば、なお良いのかなと思って聞いていた。

7 閉会（副校長）

第2回学校運営協議会は、12月16日（水）開催予定。この日は総合学科発表会が午前中にSWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）であり、午後に運営協議会を学校で予定している。午前中の発表会をご覧いただければありがたい。第3回は2月18日（木）に予定している。